



学校への提言

その2

引き続き、いただいた提言を紹介します。

- 学習面も大切ですが、「生活力」の向上も目的にしていきたいと思います。今後、社会の中で生きていく上で必要な「あいさつ」はもちろん「注意を聞き入れる力」「困ったとき考える力」など・・・。「誰かがしてくれるー。」「無理だけやめたー。」人任せの子どもも多い気がします。(ピンチをチャンスに変える力をつけてほしい。)

○わたしたちの羽合小学校の教育目標は「**目標の実現にむけて、粘り強く挑戦できる児童の育成**」です。いただいたご意見はまさに教育目標そのものだと感じます。では、私達はどのようにしてそのようなこどもたちの育成を図るのでしょうか。わたしたちは、生活の中ではクラス会議などを使って様々な課題について答えを導き、教科の中ではペアや班、全体での話し合いの中で答えを導くなど課題解決の機会を増やし、こどもたちが主体的に課題解決に取り組むことができるようにすることで課題を解決する力を伸ばしていこうと考えています。こどもたちへ求める姿と実現のための手段を学校も保護者も共有して育成にあたりたいと思います。よろしくお願いします。

- 登校中に1年生の荷物が重く上級生が荷物をクラスまで持って行ってあげた。先生が「甘えているだけだからしなくてよい。」と

いわれた。誰に言われたのではなく自分でしたのだから、先生から「ありがとう」の言葉がほしかった。

○大変申し訳ありませんでした。ここはまず、「ありがとう」から始めなければいけないところです。ご指摘ありがとうございます。

- 学習に関しては、全く心配していません。先生方に、いつも丁寧に指導していただき本当に感謝しています。夏など裸足になるのですが、裸足運動をしてほしいです。病院からも進められました。私自身も小学校時代、夏は裸足で過ごす学校でした。いろいろな保護者の方々からの御意見があると思うので実現は難しいかとは思いますが、できたら、うれしいです。

○裸足の効果や安全性など考慮しながら決定したいと思います。結論はまたお知らせします。

- 全学年毎年クラス替えするのではなく、隔年にする方が良い。児童も保護者も人間関係を築くことができない。人間関係が希薄になっている今日、様々な問題を解決させることが必要だと思う。教師と児童・児童同士がもっと深く関わる状況を作っていくべきだと考える。

○教育の継続性や人間関係作りの面からのご指摘でした。ありがとうございます。単年度毎の編成替えについて総括して、結論を出したいと考えます。結論はまたお知らせします。

【10回目】昨日は入学説明会でした。わたしたちの羽合小学校も10回目の新入生を迎えることになります。来る4月9日(木)が入学式です。

羽合小学校 寺谷英則